

北浜テラ

土佐堀川沿いの川床で食事を楽しむ客たち

(大阪府中央区)

3 飲食店
今月末まで

いであちつくり組織を盛り上げ、常設の川床として大阪の新しい風物詩になれば」としている。

(仲屋隆)



筋

全身の筋肉が委縮していく病

福井

青止さんは二十八歳の時、進行性筋ジストロフィーを発症した。五十歳で心臓の手術をした後は、寝返りも打てなくなった。五十二歳の時、ハンディに負けずに絵を描く男性に触発され、独学で水彩画を始めた。

ひと

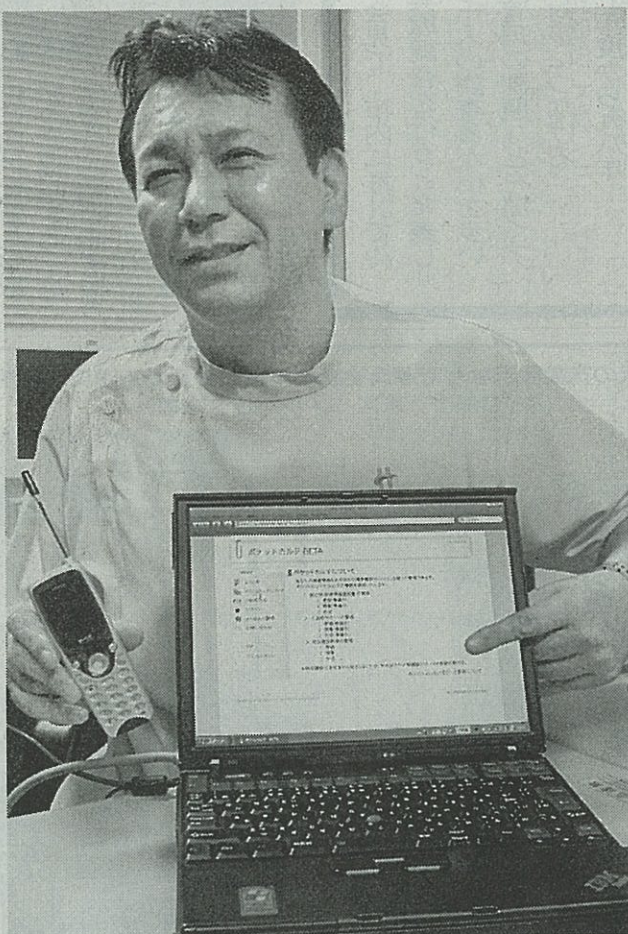
フォーカス

同じ症状でも病院によって診断や処方せんが違ふことは少なくない。診断ミスなどの問題もある。自らも国立病院機構京都医療センター(京都市伏見区)の産科医ながら疑問だった。「診断や投薬などの情報をいつでもどこでも見られれば、適切な医療につながるはず」。そんな思いから、自分の医療情報をインターネットで入手できるサービス「ポケットカルテ」を通信事業者などと開発した。

自分の医療情報いつでもどこでも

北岡 有喜さん(49)

日本サスティナブル・コミュニティ・センター顧問



開発した「ポケットカルテ」を説明する北岡さん(京都市伏見区・国立病院機構京都医療センター)

医師に見せて診断の参考にしてもらえる。四カ月間の試験サービスで約千人が利用して好評だったため、十月から無料の本格サービスを始めた。「将来的には、出先で持病を発症して意識を失っても、救急隊員がPHSから医療情

報を素早く入手して適切な応急措置が施せるようになる。病院が出した電子カルテもそのまま入力できるようにしたい」と構想を描く。

江戸時代に伊賀上野藩(現京都大医学部)に入り直して産科医になった。国立京都病院(現在の京都医療センター)に赴任した一

九九五年、ちょうど電子カルテを導入する検討が始まり、技術に詳しい経験を買われて医療情報の責任者を任せられた。本職の傍ら、温めてきた「いつでもどこでも医療情報」の構想を実現に移すため、情報技術の普及に取り組むNPO法人(特定非営利活動法人)の日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ・上京区)に参加。四年間の研究活動を経てポケットカルテの実用化にこぎ着けた。

「これからは自分の医療情報は自分で管理する時代。それが個人ごとに適した医療を行うトレーナーメイド医療や医療費削減につながる」とポケットカルテ普及に期待を寄せられている。京都市伏見区在住。(高野英明)

の所有者から借り受けた。処女作となった夕日に染まる常神半島のほか、小浜公園の桜、雪景色の神宮寺、飛騨高山の合掌造りなど、好んで題材とした風景画を中心に展示する。



歌の歌
販売

琵琶湖周航の歌の販売が始まって24作目になり、人も多。高島市杭の歌資料館で取

京都大ポート部O京都市左京区一が



は切り絵作家の川一が担当した。1歌詞が2カ月ごとの。1、2を背景に瀨田の唐7、8月はアサガなどが表現されて1部600円、送料びわ湖高島観光協(22)2108。(糸井則次)